

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：27002

学校名：琴似中央小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果	分析
体力・運動能力 <男子>	○札幌市や全国平均と比べて同程度もしくは上回っている種目 握力、立ち幅跳び、反復横跳び、上体起こし ソフトボール投げ	休み時間の体育館のキャッチボールデイの設定により、ソフトボール投げの記録向上が見られた。20mシャトルランの記録伸び悩みは例年の課題なので今年度から体力テスト週間に練習企画を取り入れる。
体力・運動能力 <女子>	○札幌市や全国平均と比べて同程度もしくは上回っている種目 握力、立ち幅跳び、ソフトボール投げ	休み時間の体育館のキャッチボールデイの設定により、ソフトボール投げの記録向上が見られた。20mシャトルランの記録伸び悩みは例年の課題なので今年度から体力テスト週間に練習企画を取り入れる。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	「運動やスポーツをすることが好き」と回答する子どもの割合 R6 男子：100.0%、女子 95.0% R7 男：100.0%、女子 79.5%	運動やスポーツについては肯定的な考えの子が多いが、ほとんど運動しない子を減らすための継続した取組が必要。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自らの健康づくりを図る取組の充実
-------	-----------------	-----------------------	-----------------------

具体的な取組	<p>○子どもが教師や友達と一緒に課題を見付けたり、課題別グループの学習の機会を増やしたりしていく。また、体育の授業改善を通して、体力の向上や体を動かすことへの意欲に結び付け、運動の楽しさを味わわせる。</p> <p>○令和7年度同様なわとび活動の成果、ボール運動の推奨に合わせるため、全校での体力テストの項目を固定する。(20mシャトルラン・ソフトボール投げを全学年に導入。)今年度から、児童委員会主導で体力テストの企画を行い記録向上を目指す。</p> <p>○Chromebook を活用し、自分の動きを客観的に見たり、交流場面に活用したりしながら課題探的な学習に努める。</p>	<p>○ボール運動に親しむ場所を設定し、なわとび活動で体を動かすことのおもしろさを委員会の子どもたちと発信する機会を設けたりすることで、子どもたちが休み時間等の時間にグラウンドや体育館などで遊びたいという意欲を喚起する。また、週に1回体育館で、大谷グローブを活用したキャッチボールデイを実行するなどし、運動を推進する。冬季にはもえぎの部屋を活用し、体を動かす環境を増やす。</p> <p>○今年度も持久力を付けるためなわとびの運動を習慣化する。ブロックで取り組む週に1回の朝縄跳びに加え、体育委員会企画の全校なわとび大会など子どもたちの自治的な活動と結び付けて取組を進める。</p> <p>○鉄棒・跳び箱・マット週間のように重点的に取り組む機会を設ける。</p>	<p>○生活リズムを整え、運動習慣・学習習慣を身に付け、自己管理する力を家庭と協力しながら育む。</p> <p>○睡眠時間と、ゲームやスマートフォン等の時間と健康状態の関係について考えるきっかけとなる資料を用意し、子どもたちが思考・判断するきっかけを生み出す。(栄養教諭と連携して系統的に食育を行う。)</p> <p>○心の不調やストレス、性の悩みを抱えたときの対処の仕方について、スクールカウンセラーなど専門家の協力を得ながら子どもたちの対応力を高める。</p>
--------	--	---	--

家庭・地域との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムを整えることや「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣づくりについて保護者・地域とともに取組を進めていけるよう、学校だより、保健だより、給食だより、学校ホームページ等様々な媒体を使いながら発信していく。 ・苦手意識をもっている子が多い水泳学習において、今年度も教員同士で研修を行い、水中での運動の楽しさを味わえるようにする。
--------------	--

